

第10回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会 議事録

日時：2014年1月25日（土）16：40～17：40

場所：ホテルニューオータニ大阪 アルティア（2F）

出席者（敬称略）：

皆上大吾（日本獣医生命科学大学）、鈴木学（株式会社サップス）、日高勇一（宮崎大学）、
細谷謙次（北海道大学）、（合計4名）

議長：[本会雑誌編集委員会編集委員長] 藤田道郎（日本獣医生命科学大学）

書記：吉田由紀子（日本獣医がん学会雑誌 進行・制作・編集担当）

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 審議事項※敬称略

(1) 投稿促進について：

(ア) から (カ) が承認された。

(ア) 認定委員会の協力の継続・推進

(イ) 各学術部会（外科部会、内科部会、放射線療法部会）の協力の継続・推進

(ウ) 本会 HP にて、本会雑誌バックナンバー、投稿規程、掲載までの流れ、
の紹介の継続・推進

(エ) 本会学会要旨集等に、投稿募集記事掲載（無料）の継続・推進。

(オ) 小動物腫瘍臨床（Joncol）への投稿募集記事掲載（無料）の継続・推進

(カ) 上記（ア）から（オ）を継続・推進する上で、現行の投稿規定に変更の
必要が発生した場合には、逐次、検討を進める。

例：投稿規定2.「原著、短報の投稿者の筆頭著者は本会会員とする～」

について、コレスポন্ディング・オーサーが本会会員であれば、
この限りではないとするか否か。等。

(2) 英文査読委員からのご指摘の反映について：

「数詞は時間や単位つきの場合は数字表記でよい。名詞の数として書かれている
場合は、慣用的には1-9はスペルで書き、10以上は数字とする」というご指摘
について、メイン査読者が必要に応じ査読時に申し添えるようにする。

また、本件を投稿規程に反映する場合は、(1) (カ) の変更時に共に
行うようにすることが、承認された。

(3) FAQ の作成について :

第8回雑誌編集委員会承認をふまえ、FAQ を作成し本会 HP へアップし、投稿者側の質問・疑問へ対応。投稿しやすさを促していく。
その具体的な掲載内容について、後日送付される試案を吟味・精査し、次回編集委員会までに内容を決定できるようにしておくことが、承認された。

(4) 投稿承諾書について :

(ア) (イ) が承認された。

(ア) 投稿者は、投稿時の投稿承諾書の提出を不要とし、代わりに、筆頭著者(トップ・オーサー)及び共著者すべてのメールアドレスを添えて投稿する。以後のやりとりにおいて、連絡責任者(コレスポন্ディング・オーサー)、及びカーボンコピーメール(cc メール)にて筆頭著者(トップ・オーサー)、共著者に送信できるようにする。

(イ) 上記(ア)の取り決めの実行のタイミングは、学会ホームページ内において必要箇所を変更し、準備が整い次第とする。

(5) 技術講座について :

技術講座は、各部会持ち回りで、全5回を目安にご執筆頂くようにする。

従って、現在の内科部会ご担当による技術講座は、次回の第5回(Vol. 5No. 1掲載予定分)をもって終了、次は外科部会がご担当で全5回を目安にご執筆者を選出・ご執筆頂くことが、承認された。

2. 報告事項

(1) 査読システムの一部変更について :

メイン査読者が関わる査読システムにおいて、今年度より、一部変更されたことが、報告された。

【変更前】 査読結果は、査読者が直接メイン査読者へ送信

【変更後】 査読結果は、編集者(本会雑誌 制作・編集担当)を経由して
メイン査読者へ送信

(2) 現在までの掲載実績について :

現在までの掲載実績について、以下が報告された。

2010年 Vol.1No.1～No.4

2011年 Vol.2No.1

2012年 Vol.3No.1～No.2

2013年 Vol.4No.1～No.2

(3) 本会雑誌、現在の進捗状況について※2014年1月25日現在

(ア) (イ) が報告された。

(ア) 投稿論文について

投稿論文は、原著と短報。

原著は審査中：0編

短報は審査中：2編、掲載決定論文：1編

(イ) 依頼原稿について

総説、技術講座は依頼原稿。

技術講座：前内科部会に続き、新内科部会にて、

同テーマ「What is your Diagnosis？」を継続中。

第5回（次号 Vol.5No.1 掲載予定）をもって、終了。

内科部会の次は、外科部会が技術講座を引き継ぐ。

上記の他、本会渉外・広報の先生に、学会報告記事をご執筆頂いている。

(4) 執筆にあたっての、引用、転載、改変の許諾について：

執筆にあたっての、引用、転載、改変の許諾について、(ア) (イ) について、報告され、説明された。

(ア) 投稿論文（原著、短報）で発生する引用・転載・改変の許諾については、申請及び発生する費用は、全て投稿者側の負担とする。

(イ) 依頼原稿（総説、技術講座）で発生する引用・転載・改変の許諾については、申請及び発生する費用は、執筆者側の負担とする。但し、編集委員長の判断によっては、この限りではない。

3. 次回編集委員会 開催予定

日時：2014年夏

場所：未定

出席者（予定・順不同・敬称略）：

藤田道郎（編集委員長）、皆上大吾（編集委員）、浅野和之（編集委員）、
賀川由美子（編集委員）、鈴木学（編集委員）、高木哲（編集委員）、中山智宏（編集委員）、
日高勇一（編集委員）、細谷謙次（編集委員）、圓尾拓也（編集委員）、

審議事項：未定

-

以上。

（文責者：藤田道郎）